

# 教育だより

## その情報、信じていいの？

情報リテラシーについて、家族で考えてみよう

インターネットやSNSには、毎日たくさんの情報が流れています。

ニュースや動画、広告など便利な情報もあれば、間違った情報や人をだますものもあります。

「本当だ！」と思ってすぐに信じてしまったら、思わぬトラブルにつながるかもしれません。

こうしたトラブルを防ぐには、情報機器の正しい使い方に加えて、情報の意味を理解し、必要な情報を選んで活用するなどの「情報を正しく活用する力（情報リテラシー）」を身につけることが大切です。

次のような場合、AとBどちらが正しい対応か考えてみましょう。

Q

動画サイトで、有名人が「このお菓子を食べると頭がよくなる！」  
という動画を投稿しているのを見かけました。  
あなたならどうしますか？

A. 本当に正しかどうか調べてみる

B. 本当に正しかどうか調べてみる



正解は・・・B！

情報をうのみにせず、発信元や根拠を確認することが大切です。

このほかにも、インターネットやSNSを使うときに気をつけることはたくさんあります。

ご家庭で情報リテラシーについて考えるきっかけとして、『情報リテラシーチェックシート』をぜひご活用ください。

下記の二次元コードや区立小中学校のタブレットパソコンのブックマークからご利用いただけます。



小学校低学年向け



小学校高学年向け



中学生向け



【問合せ】教育施策課 教育施策担当係（電話 03-5984-1290）

## 地域の力で学校の教育活動を充実させるために

### 区立幼稚園・小中学校で「学校・地域連携事業」を進めています

学校・地域連携事業は、地域の方々のご協力のもと、学校の教育活動の充実を目指すものです。令和7年度も、昨年度に引き続き、区立の全幼稚園・小中学校で実施しました。

各校には、地域と学校の橋渡し役として「学校支援コーディネーター」を配置しています。学校支援コーディネーターは、学校のニーズに応じて、地域の方への協力依頼や計画、準備のサポートなどを行っています。

10年目の節目を迎えた今年、各校の学校支援コーディネーターを統括・調整する役目を担う「統括コーディネーター」から教育長に、これまでの活動を報告しました。

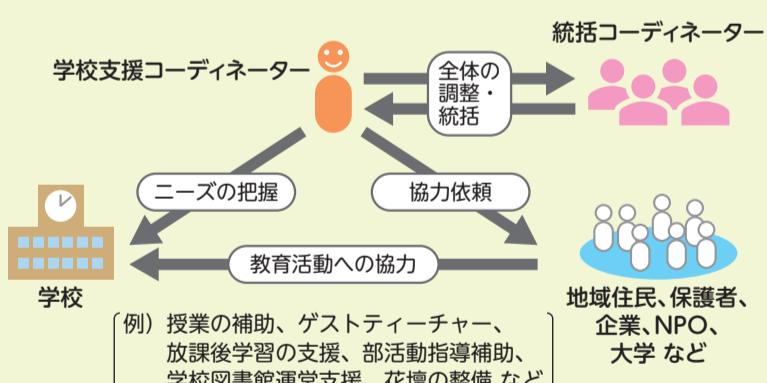
#### 【活動報告】



◆教育長にこれまでの活動を報告する  
統括コーディネーターのみなさん



◆訪問後の記念撮影



#### 【研修会の様子】



◆年2回、学校支援コーディネーターとしての知見を深めています。

【問合せ】教育指導課 サポート人材推進係（電話 03-5984-1312）

# ヤングケアラーを知っていますか？

## ヤングケアラーとは？

家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者のことです。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話をや見守りをしている。



目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。

介護や世話を過度に行っているとこのような影響が出る可能性が…



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

- 勉強や部活の時間が取れない
- 希望の進路を選べない
- 放課後や休日に友達と遊ぶことができないなど

出典：こども家庭庁ホームページ

## 相談できる場所があります

ヤングケアラーかもと思ったら、ご相談ください。

【18歳未満】学校の先生・スクールカウンセラー・児童館職員など身近な大人も相談に応じます。

名 称	電話番号	受付日時
子ども家庭支援センター	〒176 03-3993-9170	月～金曜 8:30～19:00 土曜 8:30～17:00 ※祝休日・年末年始を除く
	〒179 03-3993-9172	
	〒177 03-3995-1108	
	〒178	

【18歳以上】

名 称	電話番号	受付日時
練馬区社会福祉協議会	03-3994-0208	月～金曜 9:00～17:00 ※祝休日・年末年始を除く

【問合せ】学校教育支援センター（電話 03-6385-9911）

## 令和7年度 練馬区教育委員会児童・生徒表彰

区教育委員会では、さまざまな活動の場において一生懸命努力している子どもたちを応援するため、児童・生徒表彰を行っています。

令和7年度は、スポーツ・文化芸術などで活躍した、個人399名と団体2組の表彰者を決定しました。表彰状は各学校で授与されます。

対象となった児童・生徒の氏名などの詳細については、二次元コードを読み取るか、区ホームページから「練馬区児童・生徒表彰」で検索してください。

【問合せ】教育総務課 庶務係（電話 03-5984-5609）



## 第44回練馬区学校保健大会を開催

令和7年12月11日、練馬文化センターにて保護者、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、区立学校の教職員などの参加により「練馬区学校保健大会」を開催しました。この大会は、学校保健関係者が一堂に会し、学校保健の課題について共通理解を広め、一層の協力を推進するために年1回開催しています。

当日は、会場およびオンライン参加合わせて200名以上の方々に参加いただきました。

大会では、中学校保健体育部会が、保健体育部の活動や方針、大規模校における授業の工夫と成果について研究発表を行いました。体育の授業の取組について知ることができるよい機会となりました。

特別講演では、東京都立松沢病院 副院長 近藤 伸介先生をお招きし、「思春期のメンタルヘルス」をテーマに、思春期の子どもたちが抱えるメンタルヘルスの課題と、それに対する多様な支援についてご講演いただきました。

これからも、このような機会を通じて学校保健関係者の相互理解を深め、連携を図ることで、子どもたちの健全育成につなげていきます。



【問合せ】保健給食課 学校保健係（電話 03-5984-5729）

## 大泉学園保育園 保育園で環境について学ぶ

大泉学園保育園では、子どもたちの自然を大切にする心が育つよう、日々の保育の中で環境への取り組みを行っています。毎日使っているものは、大切にしないといつか無くなってしまう！子どもでもできることがあると気づいてほしい！という思いで、「紙」「水」「電気」「食べ物」の4つテーマで実施しました。



紙の  
リサイクル  
の話



紙は何か  
作られるか  
知ってる？



### 電気を大切にしよう

「電気が使われているものは?」「せんぱうき」「れいぞうこ」「でんしゃ」いろいろ出ました。電気は目に見えないからイメージが難しいですが、「使っていない部屋の電気は消そう！」と子どもたちから聞こえてきました。



### 紙を大切にしよう

描いた紙やペーパータオルを  
大切に使うようになりました。

知ってる！木だよね



電気を使いすぎると、どんどん暑い日が増えて作物も枯れてしまします。

### 水を大切にしよう

水を出しつ  
ぱなしで  
洗う

ちゃんと  
水を止めて  
洗う



水がお家に  
届くまで

### \*手洗い\*

赤水と青水を用意。  
赤水は出しつぱなし、  
青水は節水しながら  
手を洗ってみました。  
使った水の量が一目瞭然で、  
子どもたちにもよくわかる  
結果となりました。



紙や水を大事に使ったり、「先生、電気消さないと！」という姿が見られています。  
おいしいごはんも残さず食べることで、自分にも地球のためにも良いとわかり、  
もりもり食べています。

【問合せ】保育課 管理係(電話 03-5984-5839)

### 食べ物を大切にしよう

『すっきりんごちゃんとくわづぎら  
い王子』の紙芝居を通して、食べ物を  
捨てている国もあれば、食べ物がなくて  
食べられない国もあることを知った  
子どもたちは、栄養士の話を真剣なま  
なざしで聞いていました。



## 令和8年度ジュニアリーダー 養成講習会 受講生募集

「ジュニアリーダー養成講習会」は、地域におけるさまざまな行事などで中心的役割を担う青少年「ジュニアリーダー」の育成を目的としています。

講習会では、仲間づくりのリーダーとして役立つクリエーションや野外活動などの知識や技術を学びます。講習会の修了生は、地域の活動に積極的に参加・協力し活躍しています。

対象者：初級 新小学5・6年生、中級 新中学1～3年生  
応募条件：ジュニアリーダーになるための自覚があり、会場まで自分で通うことができ、団体の一員として、自分のことに責任を持って行動できる児童・生徒

参加費：初級 7,500円、中級 10,000円  
(教材費・保険料・宿泊食事代・交通費など)

#### 【講習内容】

4月	開講式	9月	ジュニアリーダーの 知識と意識
5月	仲間づくり	10月	
6月	ジュニアリーダーの 知識と意識	中級のみ	合同講習会に向けて
		11月	初級・中級合同講習会
8月	キャンプ	12月	閉講式



～講習会の様子～



【問合せ】青少年課 青少年係(電話 03-5984-4691)

## 令和8年度“社会を明るくする運動” ポスター・チラシ原画の募集

### “社会を明るくする運動”

すべての国民が、犯罪や非行  
の防止と立ち直りについて理  
解を深め、それぞれの立場に  
おいて力を合わせ、明る  
い地域社会を築くための  
全国的な運動です。



令和7年度ポスター・チラシの原画

### 募 集 要 領

- ▽対象者：小・中学生
- ▽締切り：令和8年2月20日（金）
- ▽応募規格
  - 用紙：画用紙 八つ切り (380mm×270mm)
  - 描画：水彩絵の具など
  - 提出：作品裏面に①学校名、②学年、③氏名（ふりがな）④電話番号を記入のうえ、区立小・中学校に通っている方は、学校の指定する日までに学校に提出してください。区立小・中学校以外の方は、持参または郵送で〒176-8501 区役所内青少年課青少年係まで送ってください。
- ▽留意事項：社会を明るくする運動の趣旨に沿って作成してください。



【問合せ】青少年課 青少年係(電話 03-5984-4691)

# 新しい年を迎えて～教育委員会からのごあいさつ～



## スポーツの祭典 教育委員会教育長 三浦 康彰

冬季オリンピック・パラリンピック、ワールドベースボールクラシック（WBC）、FIFAワールドカップなど、今年はスポーツに関する国際的なイベントが多く開催され、日本の選手たちの活躍が期待されています。学校では、コロナ禍で低下した子どもたちの体力の向上が喫緊の課題となっています。自ら運動に親しむ子どもたちが増えるよう、引き続き、授業改善や体力向上に向けた取組の充実に努めてまいります。



## 昨年を振り返って

委員 小林 三保

出前教育委員会や研究授業・施設見学などいくつか訪問させていただく機会がありました。給食と一緒に食べた時、みなさんが楽しく給食の時間を過ごしている姿を見ることができました。研究授業では、教職員の方々も生徒のみなさんも研究してきた成果を堂々と発表する姿を見せていただきました。特に印象的だったのはみなさんの目に強い意志を感じたことです。どの機会も短い時間ではありましたがとても素敵なお時間でした。計画・準備・実行してくださったみなさんありがとうございました。



## 共に生きる社会へ

委員 森山 瑞江

昨年、日本でデフリンピックが開催され、音のない世界で生き生きとした選手の活躍が光りました。秋の出前教育委員会で、6年生から「どうしたら共生社会になりますか」との質問がありました。社会にはそれぞれに違う人ばかりで、だれもがかけがえのない一人ひとりです。自分はもちろんのこと、違いがある人についても大切にしてもらいたいと思います。それが共生社会の始まりだと思います。



## これからの社会を生き抜く力

委員 仲山 英之

これからの社会を生きていく上で、情報機器やAIは有用な道具である反面、それらの活用で情報の海を漂流するだけになったり、考える力が育たなかつたりあるいは退化することが懸念されています。それゆえ教育現場では、これらの道具を適切に使える情報活用能力を育成するとともに、自ら考える力を育てることがこれまでにも増して重要です。これらの力は、これからの社会を生き抜く力になるはずです。



## 教育と子育ての充実に向けて

委員 大石 光宏

昨年12月に教育委員に就任しました。どうぞよろしくお願ひいたします。「余白の創出を通じた教育の質の向上。」次の学習指導要領改訂に向けた方策の一つです。今後、学校のみならず家庭・地域においても、社会全体で大人が余裕をもって「子どもたち」に向き合い育みそだしていくことが一層大事になってきます。練馬区教育・子育て大綱には、教育と子育ての視点からの目標があります。この2つの視点を基本に、未来を担う子どもたち一人が自分らしく成長できるよう、教育委員として力を尽くして参ります。

## 出前教育委員会を実施しています

教育委員会の役割や仕組みについて理解を深め、より身近に感じていただくために、教育委員が区立学校に出向いて会議を開く「出前教育委員会」を実施しています。今年度は、大泉小学校（7月）、春日小学校（11月）、練馬中学校（1月）で行いました。

また、学校で出前教育委員会を行う際には、教育委員が児童・生徒などから直接、意見や要望をお聞きする意見交換会も併せて実施しています。意見交換会でいただいた質問の一部を要約してご紹介します。

### 《児童》

質問：教育委員会の方々が私たち子どもに求めていることはなんですか？  
回答：教育委員会は、みなさんが自信を持って自分の学校に通い、卒業後も誇れる環境を整えることを目指しています。義務教育は国が定めた制度で、日本中の子どもたちに「自分の学校」があります。小学校6年間の間には、けがや病気で休むこともありますが、治ったときには必ず学校がみなさんを待っています。それが「自分の学校」です。みなさん自身も、このことを覚えておき、誰かに伝えてください。学校は学びの場であり、夢や目標を持って努力することが大切です。教育委員会は、みなさんが安心して学び、卒業後も「この学校でよかった」と思えるような環境づくりを進めています。ぜひ、自分の学校を誇りに思い、自慢してください。

### 《児童》

質問：教育はどのように変化していますか？  
回答：教育はここ数十年で大きく変わりました。以前は知識や技能を身につけることが中心でしたが、今では考える力、判断する力、表現する力を育てることが重視されています。主体的に対話的な深い学びが求められ、ICT機器の活用も進んでいます。こうした変化は、子どもたちがこれからの時代を生き抜くために必要な力を育てるためです。春日小学校の教育目標にも「考えて正しく行動する子ども」とあり、こうした力を育てることが目指されています。

### 《児童》

質問：教育委員会の方々は、外国の方だけでなく区のみんなが「共生」していくためには何が必要と考えますか？  
回答：社会には、障害や高齢、妊娠などで不自由な人がいます。建物のバリアフリーは進んでいますが、次に必要なのは「心のバリアフリー」です。困っている人に「お手伝いしましょうか」と声をかけるだけで、相手はとても助かります。認知症やさまざまなハンディを持つ人もいますが、理解し、思いやりを持って接することが共生の基本です。みなさん一人ひとりがかけがえのない存在であり、自分も人も大切にする心を持ち続けることが、優しいまちづくりにつながります。助け合って共に生きることが、これからの社会に必要なことです。

### 《児童》

質問：勉強する上で大切なことはなんですか？  
回答：勉強で大切なのは、先生や友達の話をしっかりと聞き、理解することです。その上で、自分の考えを形にし、表現する力を身につけることが重要です。また、小さな目標を設定し、達成感を積み重ねることで学びへの意欲が高まります。さらに、体験を通じて学ぶことも大切です。知識だけでなく、実際に体験することで理解が深まります。勉強が嫌いでも、好きなことを見つけて追求することで学びが楽しくなります。教育委員会は、子どもたちがこうした力を育て、将来にわたって学び続ける姿勢を持てるよう応援しています。



意見交換会の様子(春日小学校)



教育委員も一緒に給食をいただきました。(大泉小学校)

※意見交換会の概要是  
ホームページに  
掲載しています。



【問合せ】教育総務課 庶務係〔電話03-5984-5609〕

## 「教育だより」へのご感想やご要望をお寄せください

教育だよりの紙面に対してはもちろん、各記事の詳細につきましてもご感想やご要望をお待ちしています。二次元コードからアクセスし、「教育だよりへのご感想・ご要望について」よりメールをお寄せください。いただいたご感想、ご要望は、次号以降の記事作成への参考とさせていただきます。

教育総務課 庶務係

